

事業所名

学校法人二葉学園 ふたばこどもセンター

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		地域の全ての子どもと、その保護者・家庭を支える“地域の子育て支援拠点”として幼保連携型認定こども園(幼稚園昭和30年開園、その後、平成27年に幼保連携型認定こども園へ移行)と児童発達支援事業所(令和5年6月開所)を運営しています。近隣の幼稚園や保育園に就園中、及び、未就園の親子に対しての子育て広場事業、子育て相談、発達相談、保健相談など、当学園職員(保育教諭、公認心理師、臨床発達心理士、看護師、管理栄養士)により、多くの親子のサポートをしてまいりました。認定こども園としては、インクルーシブ保育を基本方針に、多様な子どもたちを受け入れ、全ての子どもたちが育ち合い、学び合う環境を目指しています。当法人の事業に児童発達支援事業が加わることで、より地域で支援の必要な子どもと保護者に寄り添い、子どもたちへの支援、保護者への支援の充実を図ってまいります。					
支援方針		ふたばこどもセンターでは「遊びは学び、学びは遊び」を大切にしています。子どもが夢中になれる遊びを見つけられること、その中でたくさんの「できた」を経験して積み重ねること、大好きな遊びを誰かと共有する喜びを感じられるようになることが、発達の土台になります。					
営業時間		9 時 00 分から	17 時 00 分まで	送迎実施の有無		なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	更衣、排泄などの日常生活動作の獲得と定着ついて、個々の発達に合わせたスモールステップの支援をしていきます。また生活習慣について必要に応じたアドバイスを行います。					
	運動・感覚	粗大運動…人や物に合わせて身体の動きや姿勢を調節する、また力を調節して人や物と関わる経験ができるよう支援を行っています。 微細運動…手元に注目し、手指や道具を使って様々な作業を楽しみ、自信をもって取り組めるよう支援します。 感覚…水・土・風などの自然素材を含めた様々な素材と関わる遊びの中で、感触・音・温度・色などへの気づきを促します。					
	認知・行動	仕組みがわかって物に関わる、色や形に着目して分類するといった認知活動は、“人と関わる力”や“状況を理解し安心して過ごす力”につながっています。認知活動により発達のつまづきの背景を捉え、個々に必要な環境調整や声かけをすることで「できた!」「わかった!」という経験を積み重ねていけるよう支援します。					
	言語コミュニケーション	友だちや大人と関わる遊びの中で、自分の気持ちや要求を伝えたり、やりとりをしながら遊ぶ経験ができるよう工夫しています。大人が気持を代弁したり、子ども同士のやりとりを橋渡しすることで、伝える喜びや伝わった達成感が得られるよう支援を行っています。					
	人間関係社会性	場や物、ルールや手順を共有する遊びや、自分の気持ちに折り合いをつけて友だちと協力をする遊びを通して、集団場面での成功体験を積み重ねていけるよう支援します。					
家族支援		・個別支援計画を通じてご家族の意向やニーズをお聞きし、必要な支援や相談を行っています。 ・1回/月程度の保護者面談を行い、療育活動での姿や発達の様子について共有を行っています。 ・親子グループ(2歳児)では活動内容についてのフィードバックや相談面接を行っています。		移行支援		・就学予定児については就学相談や特別支援教育について説明と相談を実施し、就学支援を行っています。 ・保護者から希望があった際、就学先の学校との引継ぎ会に参加し情報提供を行います。 ・家族から他施設利用の意向が示された際、移行先や行政機関と連携を図りながら円滑に移行できるよう支援してまいります。	
地域支援・地域連携		・各行政機関、児童発達支援事業所と必要に応じて連絡調整を行い連携を図っていきます。 ・利用児の通園する幼稚園・保育園について訪問、電話等により情報交換を行い、連携を図っていきます。		職員の質の向上		・新任職員研修(オリエンテーション) ・身体拘束・虐待防止・権利擁護研修 ・DPT研修 ・コラボレーション研修(二葉幼稚園との連携を推進する定期研修)	
主な行事等		お父さんと遊ぶ会、保護者交流会(1回/年 程度) クリスマスなど季節の行事に合わせた活動を各グループ療育で行っています。					